

学校経営基本方針

1 本年度の経営に当たって

(1) 本校について

本校は、由利本荘市立子吉小学校、由利本荘市立小友小学校（令和2年度に石沢小学校と統合）、および由利本荘市立尾崎小学校の一部学区を統合し、今年度、令和8年4月1日に開校した。そのため、4地区からなる広い学区を有し、スクールバスの他、羽後交通バスを利用して通学する児童も多く在籍する。

小友・石沢地区は、旧本荘市街地区南東の郊外に位置し、山や川のある自然豊かな田園地域である。地区内には、国道107号線につながる日本海東北自動車道本荘インターチェンジがあり、工業団地にはTDK等の工場が隣接している。JA秋田しんせい農業協同組合関連施設や多くの企業があり、交通量も多い地域である。農業もさかんで、地域一帯に水田が広がり、米の他そばなどの栽培や畜産、林業なども行われている。さらに、学区内に老人福祉施設が新設されるなど、高齢者の暮らしを支える新エリアとしての発展も期待される地域でもある。

子吉地区は、本荘平野を流れる子吉川の南側に広がる肥沃な子吉田んぼに位置している。古くから広い水田を取り巻くように7つの町内が点在しており、自然の恵み豊かな地区である。多くの町内では高齢化や人口減少が進んでいるが、本校のある薬師堂町内は宅地開発が進み、人口が増加している。

本校の学区である尾崎地区は赤沼、大ノ道、蓼沼町内である。羽後本荘駅の裏側を通る東バイパス沿いは商業施設が連なり、特に蓼沼町内は、本校の児童数が百名を超えるほどで近年、宅地化が進んでいる。

(2) 学校経営の基本方針

情報化の進展や、グローバル化する世界情勢により、社会がますます予測困難で複雑なものとなっている。そのような社会をたくましく生きていくために、学校教育には、一人一人の子どもが個人として、また、社会の構成員として、自立して生きていくために必要な基礎を確立することが求められている。そこで、学校の経営にあたっては、どちらも四つの「意識する問いかけ」「大切にす言葉」を核とし、子どもの「受け止める」態度と、「やってみる」行動を奨励しながら、子どもの主体性を重んじる、令和の時代に求められる学校を目指す。

特に「子どもにも教職員にも余白のある教育課程の推進」を土台とし、「一人一人に関わり、見取り、励まし働きかけ、支える指導」「多様な子どもたちを包摂し、主体的な学習へ導く授業づくり」「よりよい人間関係を築くふるさと教育と特別活動の推進」を経営の三本柱に据え、学校教育目標の実現に向かっていく。

2 学校教育目標と目指す姿

(1) 学校教育目標

ふるさとの仲間と共に 未来をひらく

「ふるさとの仲間」とは、子どもから見た友達だけでなく、教職員、保護者、地域住民、地方公共団体の職員、民間の担い手も入る。「未来をひらく」とは、困難に立ち向かい、たくましく未来を切り開く。そして他と協働し、よりよい未来を創造することである。学校はあるものではなく、みんなで作るものである。全ての人が学校をつくる当事者になっていただくことで、この先が見えない不確実な世界の中であっても、未知の状況に対応できる、仲間と力を合わせて困難を乗り越えることができる、まさに未来をひらく力を教育できる学校となる。本校は今年度開校の新設校である。これまでの学校文化、指導観をアップデートし、地域と共に、昭和でも平成でもない、令和の時代が求める学校への脱却を図っていく。

(2) 目指す学校の姿

- ①子ども一人一人が大事にされ、学ぶ喜びにあふれた学校
- ②明るく元気に活動できる、楽しい学校
- ③協働の精神を大切にし、生きるたくましさを育む学校
- ④保護者や地域の思いや願いを大切にし、共に子どもを育てようとする学校

(3) 目指す子どもの姿と資質・能力

- ①互いに認め合い、仲間と共に高まり合う子ども
…関わる力
- ②目標や夢に向かって、前向きに取り組み、可能性に挑戦する子ども
…進める力
- ③考え、振り返りながら学んだことを活用して行動する子ども
…見つめる力
- ④心身共に健康で、明るくさわやかに、生き生きと活動する子ども
…関わる力、進める力、見つめる力

(4) 目指す教師の姿

- ①子ども一人一人に関わり、見取り、励まし働きかけ、支える教師
…【経営三本柱一本目】
- ②同僚性を大切にし、周囲と機嫌よく関わる教師
- ③それぞれの持ち味（強みなど）を生かし、互いに学び続ける教師
- ④子どもや保護者、地域の願いに向かい合い、信頼される教師

3 経営の重点

(1) 多様な子どもたちを包摂し、主体的な学習へと導く授業づくり

…【経営三本柱二本目】

- ・子ども一人一人の思いや願いを生かす「自己選択・自己決定」の機会のある授業
- ・ゆるやかな協働性の中で、自律して学ぶことができる「対話」の機会のある授業
- ・獲得した学び方や技能を活用する機会のある授業

(2) よりよい人間関係を築くふるさと教育と特別活動の推進

…【経営三本柱三本目】

- ・学区の広さを生かした校外学習
- ・活動時間を保障した子ども主体の縦割り活動や集会活動
- ・主体性や合意形成能力を育む学級会や学級活動

(3) たくましい心身を育む教育の充実

- ・健康的な生活習慣や生活リズムの醸成
- ・発達支持的な支援を基に、子どもの挑戦する機会を与え、大事にする指導
…【経営三本柱一本目】
- ・自他の生命を守る安全意識、危機回避能力の育成

(4) 地域に開かれた学校づくり

- ・学校運営協議会（CS）による「地域の学校」の運営
- ・保小連携、小中連携の充実
- ・地域の人材活用

(5) 子どもの学びに伴走できる教師力の向上

- ・見取った子どもの姿から、多様な学びについて語り合う授業研修会
…【経営三本柱二本目】
- ・授業力の向上、教室が子どもの居場所となる方策等の研修
- ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制づくり
- ・人事評価システムを活用した組織の活性化と資質能力の向上

(6) 子どもにも教職員にも余白のある教育課程の推進

…【経営の土台】

- ・勤務時間開始10分後の始業
- ・学年裁量による15分間昼活動
- ・週数に応じた授業時数および教員の持ち時数の平準化